

# 単 池田 複 関根・池田組も 全国大会は中止に

# 男子団体 3年ぶり 帯大谷



道高校新人バドミントン

バドミントンの第52回道高新人大会兼第48回全国高校選抜大会北海道予選会(1月13〜16日・旭川市、道バドミントン協会など主催)男子団体戦で、帯大谷(相澤俊彰監督・関根陸主将)が3年ぶり4度目の優勝を果たした。個人戦は男子シングルス(単)で池田侑輝(帯大谷)がベスト8だった。個人戦は単で石原駿斗(帯大谷)が、複で石原・中村来未組(同)が8強。単の澤田昌(旭川実1年)帯・中田が準優勝した。各優勝校、優勝者は全国高校選抜選手権大会(3月25〜29日・鹿児島)の出場権を得たが、新型コロナウイルスの影響で全国大会は中止となった。(北雅貴)

帯大谷男子が決勝で旭川実をストレートで破って歓喜に酔った。関根陸主将は「昨年この大会もインターハイ選手も団体戦で勝てなかった。純粹にうれしい」と笑顔を見せた。4年連続で同じ顔合わせとなった決勝。準決勝で滝川に3-2と勝利するなど「進路までほいどい状態」(関根主将)だったが、ライバルの存在がチームの雰囲気を変えた。2連覇中の旭川実のユニホームをネット越しに見て、チームは一つになった。選手たちは切り替えてプレーする選手だけでなく、ベンチや観客席で応援する仲間が「ポイントごとに大きな声援を送った。今大会はマネージャー役に回った高橋副主将(2年)も支えた。団体戦で優勝するために自分ができることを考えた。選手がケアやモチベーションを上げられるように意識した」と振り返った。



3位に入った帯大谷女子(前右列端が中村来未主将)

試合は3コートで同時に行われた。第1ダブルスの関根・池田侑輝組が速攻で低11点をもち込み失点を計21点にとめて完勝した。第2ダブルスの佐々木蓮太・清水誠組(2年)は第1ゲームを奪われたものの、2連覇中の旭川実のユニホームをネット越しに見て、チームは一つになった。選手たちは切り替えてプレーする選手だけでなく、ベンチや観客席で応援する仲間が「ポイントごとに大きな声援を送った。今大会はマネージャー役に回った高橋副主将(2年)も支えた。団体戦で優勝するために自分ができることを考えた。選手がケアやモチベーションを上げられるように意識した」と振り返った。

ト8以上の結果を残した。意気込んでいたが、新型コロナウイルスの影響で中止が決まった。休校となり、部活動は少なくとも3月末まで中止。3シングルスとして試合を始めた関根主将は「足首を痛めており劣勢、第2シングルの池田も第1ゲームを取られていただけに、大きな勝利だった。前チームは1学年以上に上り、山界大の1人しかおらず、関根をはじめ、多くの選手が全道レベルの公式戦の経験を得た。念願の全国大会に挑むことができた。選手たちは、大会を通じて気持ちの面で力がなくなってきた。攻める姿勢を忘れた。最後は相手のヘアピンがネットに掛かるミスで競り勝ち、優勝を手にした。昨年12月下旬に道協会の中学、高校生を対象にした台湾遠征メンバーに入り、外国人選手とのレベルの差を感じたという。今年1月初旬には高校生のトップ選手が集まる全日本合宿に参加した。

「優勝を目指していたので悔しい。ただ、準決勝の旭川実戦は負けたが手応えもあった。3位に入った帯大谷女子の中村来未主将(2年)は課題と収穫を口にした。3試合をすべてストレート勝ちして準決勝に駒を進めた。旭川実の第2ダブルスで石原駿斗・中村来未組(同)と振り返った。今夏のインターハイ予選となる道高体連の優勝を目標に、個々のレベルアップを図り、団結力も深めることを誓っていた。

「チームメイトや監督、家族、練習してくれた実業団の選手などいろいろの人に支えてもらった結果、感謝の気持ちでいっぱいです」。1年生ながら男の子3冠を飾った池田侑輝は謙虚に話した。

決勝は第1シードの荒川彰来(旭川実)と対戦。第1ゲームを21-19で奪った。第2ゲームも接戦に、20-18とマッチポイントを奪いながら連続失点し、ジュースにもつれ込んだ。思いついてプレーしようと思った。大会を通じて気持ちの面で力がなくなってきた。攻める姿勢を忘れた。最後は相手のヘアピンがネットに掛かるミスで競り勝ち、優勝を手にした。昨年12月下旬に道協会の中学、高校生を対象にした台湾遠征メンバーに入り、外国人選手とのレベルの差を感じたという。今年1月初旬には高校生のトップ選手が集まる全日本合宿に参加した。

# NPBとJが連絡会議

## 新型肺炎 公式戦可否など協議



日本野球機構(NPB)とサッカーJリーグは2日、東京都内で記者会見し、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「対策連絡会議」を共同で設立すると発表した。プロ野球12球団の代表者やJリーグ理事らのほか、感染症の専門家も招いて公式戦実施の可否などを協議する。3日に第1回会合を開く。

「新型コロナウイルス対策連絡会議」の設立について記者会見するNPBの斉藤博二(左)とJリーグの村井満(右)は2日午後、東京都港区で記者会見した。

「国民の皆さんの脅威に連携して対応していく」と話した。政府の専門家会議が2月24日に示した「これからの1〜2週間が瀬戸際」との見解を受け、Jリーグは25日に公式戦94試合の延期を決定。プロ野球も26日にオープン戦7試合を無観客とすることを決めた。Jリーグは3月18日からの再開を、プロ野球は同20日からの公式戦再開を目標としている。

冷静な対応必要 斉藤博二プロ野球コミッショナー、公式戦実施のために専門家の意見は欠かせず、冷静な対応が必要。他の競技団体とも積極的に情報を共有し、大規模な開催を考えた。全国高校選抜ラグビー中止

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日本ラグビー協会は2日、埼玉・熊谷ラグビー場で25日から31日まで開催予定だった全国高校選抜大会を中止すると発表した。

八村は15得点、8リバウンド。ウィザースの八村塁は1日、敵地サンフランシスコの約30分間のプレーで15得点、8リバウンド、1アシストだった。2桁得点は6試合連続。

帯大谷女子は3-0で旭川実を破った。池田侑輝(単)は21-11、佐々木蓮太(単)は21-10と、2試合連続で完勝した。

帯大谷女子は3-0で旭川実を破った。池田侑輝(単)は21-11、佐々木蓮太(単)は21-10と、2試合連続で完勝した。

Table with 2 columns: Player Name, Score. Includes names like 八村塁, 佐藤晃一, etc.

Table with 2 columns: Player Name, Score. Includes names like 池田侑輝, 佐々木蓮太, etc.

かちまいスポーツ

記録の速報はkachimai.mobi

写真がほしい0120-255-6410

メール sports@kachimai.co.jp

アクセス0115-55-2700

ばんえい競馬 帯広第24回・6日目(2日・曇り)

加。「スピード、フットワークが力になった。自分の課題を改めて知った。さらなる成長へつなげていくつもりだ。」